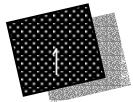


にっしんのんびり村プロジェクト



[何のために?]

ねらいや効果

自然と共生した昔ながらの暮らし（古民家、里山・田畑の再生、水・食糧・エネルギーの自給など）を体験し、自然からの恵みに気付くことができる場所づくりをめざします。

関連する環境指標（詳細は資料編参照）

にっしんのんびり村数、のんびり村の延べ年間参加者数



[何をいつどのように?]

具体的な進め方

□A: 市民主体・行政共働 / □B: 行政主体・市民参加

1) 南山のんびり村で始める

南山のんびり村のむらづくり作業	A	●	●	●	●	●	●	●	●
収穫祭などの体験イベントの実施	A	●	●	●	●	●	●	●	●
南山のんびり村での経営手法の蓄積	A	●	●	●	●	●	●	●	●

2) 昔ながらの暮らしを調べる

日進に古くから伝わる風習・伝説・言葉・歌などの調査	A	●	●	●	●	●	●	●	●
昔の生活の知恵の調査	A	●	●	●	●	●	●	●	●
昔行われていた里山の管理・田畑仕事・水の管理の調査	A	●	●	●	●	●	●	●	●

3) のんびり村の充実と拡大

小屋づくりや古民家の移築などの建物の整備	A	B	●	●	●	●	●	●	●
のんびりブランドの開発と販売	A	●	●	●	●	●	●	●	●
南山のんびり村に続く適地調査と環境寄合等を通じた協力者探し	A	●	●	●	●	●	●	●	●
各小学校区への整備（順次整備）	A	B	●	●	●	●	●	●	●

4) 活動への参加者と体験利用者を増やす

先進地視察や里山講座の開催など活動参加者の掘り起こし	A	●	●	●	●	●	●	●	●
のんびり村の一般公開と里地体験講座など体験的利用の推進	A	●	●	●	●	●	●	●	●

17-20
H.16 21-25年度

3

[どこで?]
実施場所

市内の里地（里山・田畑）で各小学校区に1ヶ所、南山のんびり村

4

[誰が誰と何を?]
取組主体と関係者の役割

取組主体 環境パートナーシップ組織（市民団体）、活動に賛同する市民、里地所有者（市民）、産業振興課、水と緑の課（市）		
市（行政） 協力する里地所有者へ 優遇措置制度の整備 古民家移築などの実施 里山体験施設の整備 取組主体への支援	市民団体 プロジェクトの推進	事業者 のんびりブランド販売協力
	市民（滞在者等を含む） 里地の提供（有償・無償） 活動への参加、専門分野 （農業等）での協力	教育機関 学習機会の創出
		市職員 専門分野での支援

注）：取組主体としての役割、：関係者としての役割

5

[補足は?]
備考

にっしんのんびり村構想

< のんびり村の整備内容 >

- (1) 里山の再生：竹藪の管理、間伐、炭焼き、シイタケ栽培など
- (2) 田畑の再生：放棄された田畑の再生、休耕田の活用など
- (3) 水辺の再生・雨水利用：井戸掘り、小川やため池の整備など
- (4) 自然エネルギーの活用：水車、太陽光、生物資源など
- (5) 冒険遊び場（プレーパーク）づくり
- (6) 建物の整備：農機具小屋、デッキ、古民家移築など



南山のんびり村の様子

< のんびり村の体験講座 >

- (1) 里山体験イベント
- (2) 農業体験イベント
- (3) のんびりフードイベント
（昔ながらの料理を作り食べる）
- (4) 建物づくりワークショップ
（小屋づくり、古民家の移築など）

< のんびりブランド >

- (1) 竹炭・竹酢
- (2) 野菜・米
- (3) 加工食品（味噌、漬物、季節のお菓子など）
- (4) その他のんびり村関連グッズ